

古代の道路

「市報ぎょうだ」5月号で述べたように、奈良時代には律令体制の下、中央と地方を結ぶ官道や、郡家と郡家を結ぶ道路の整備が進められました。奈良時代以前の大化の改新(645年)後、まず東海道、東山道など七道の官道が定められ、両側に溝を持つ幅12メートルの真つすぐな道路が整備されていきました。官道には30里(約16キロメートル)ごとに駅家が設けられ、公用で旅する官人らに乗り継ぎの馬、食事、宿泊の便宜を提供するようにになりました。

武蔵国には東山道の上野国新田(現在の群馬県太田市)の駅から武蔵国府(現在の東京都府中市)に至る支路(東山道武蔵路)が設けられ、その間に5駅家が置かれていたことが、「続日本紀」に記されています。

長屋王家より「武蔵国策覃宅□駅」と記された木簡が出土していますが、これを「宅子駅」と読み、谷郷に当てて、東山道武蔵路の駅家の一つが谷郷地内にあったとする説があります。しかしながら現時点では、谷郷地内で古代の遺跡は発見されていません。



武良内・中通遺跡の道路跡

東山道武蔵路は、府中市、国分寺市、所沢市、坂戸市、吉見町、太田市などで、発掘調査によって道路跡が確認されていて、現時点では吉見町から熊谷市域を抜けて太田市へと至るルートが有力視されています。

その一方で、吉見町で検出された道路跡は東山道武蔵路ではなく、吉見町から埼玉地区へと至る東山道武蔵路とは別の郡家と郡家を結ぶ古代道路(西吉見古代道路)があったとする説もあります。この説では、荒川の津(港)とも推測される野の築道下遺跡や、埼玉郡の郡家とも推測される埼玉から小針に広がる小針遺跡付近を道路が通っていたと想定しています。

残念ながら両遺跡ではこれまでに道路の跡は発見されていませんが、樋上の武良内・中通遺跡からは、詳細年代不明の古代の道路跡らしき平走する2本の溝が発見されています。この道路を南に延長すると築道下遺跡へと通じます。古代の行田の人々は、この道をたどって荒川の港へと向かっていたのでしようか。

(文化財保護課 中島洋一)

こせに ちゃんが 行く! with フラベス 福祉施設編

きょうどう さぎょうしょ  
かがやき共同作業所  
(運営:社会福祉法人かがやきの会)

今月は「かがやき共同作業所」に行ってきましたよ。ここは「障がい者の働く場をろう」そんな思いから、平成7年に保護者が中心になって発足した「社会福祉法人かがやきの会」が運営している施設だよ。今の場所に移ったのは平成16年のことで、知的障がい者の通所授産施設として新たなスタートを切ったんだ。現在は、生活介護事業を行っていて35人が利用しているよ。

利用者は「パン班」「リサイクル班」「軽作業班」などに分かれてパンの製造、アルミ缶・古紙・古着のリサイクル、手作りアクセサリーの制作などに励んでいるよ。また、初詣や節分、旅行や作業所まつりなど、楽しい行事もたくさんあるんだって。

今年の4月には南河原に「かがやきホーム」が完成して利用者の暮らしを支えているけど、夜働くスタッフが不足しているのが悩みなんだって。福祉の現場での仕事に興味のある方は連絡してみてくださいね。

【住所】野1368-1 【電話番号】559-1034



このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

今月の表紙

「夢伝説」。JR行田駅の発車メロディーにも使われているヒット曲を歌い始めると、会場は一気に最高潮に。5月4日、さきたま古墳公園では30回目となるさきたま火祭りの特別ゲスト、行田市観光大使も務める「スターダスト☆レビュー」のアコースティックライブが行われました。思い出の場所でもある古墳公園で、10曲あまりを歌い上げたポーカーで行田市出身の根本要さんの長年の夢が実現した瞬間でもありました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています

編集・発行/行田市総合政策部広報広聴課  
〒361-8601 行田市本丸2番5号  
TEL 556-1111 FAX 550-2116